

会議名	第7回港区まちづくりマスタープラン検討委員会
開催日時	平成28年9月8日（木曜日）午後6時30分から8時30分まで
開催場所	区役所9階 研修室
委員	<p>（出席者）</p> <p>学識経験者委員：中井委員長、服部委員、桑田委員、市古委員、森本委員、杉浦委員、羽生委員</p> <p>区民委員：今村委員、SUH委員、保坂委員、中島委員、堀場委員、大本委員、堀江委員</p> <p>行政委員：小柳津副区長</p>
事務局	波多野街づくり支援部長・芝地区総合支所長（兼務）、坂本特定事業担当部長、野澤都市計画課長、齊藤街づくり計画担当係長
傍聴者	1人
会議次第	<p>1 開会</p> <p>2 報告</p> <p>（1）改定骨子についてのご意見募集結果（案）について</p> <p>（2）意見交換会及びグループヒアリングについて</p> <p>3 議題</p> <p>港区まちづくりマスタープラン 改定素案について</p> <p>4 閉会</p>
配付資料	<p>【配付資料】</p> <p>資料1 改定の検討スケジュール</p> <p>資料2 「港区まちづくりマスタープラン 改定骨子」についてのご意見募集結果（案）</p> <p>資料3 意見交換会ニュース</p> <p>資料4 グループヒアリング実施結果概要</p> <p>資料5 港区まちづくりマスタープラン 改定素案（案）</p> <p>資料6 港区まちづくりマスタープラン 改定素案 概要版（案）</p> <p>参考資料1 前回の検討委員会などを受けての主な変更点</p> <p>参考資料2 第6回検討委員会 議事要旨</p>
会議の結果及び主要な発言	
委員	<p>1. 開会</p> <p>2. 報告</p> <p>●改定骨子についてのご意見募集結果（案）について</p> <p>●意見交換会及びグループヒアリングについて</p> <p>3. 議題</p> <p>港区まちづくりマスタープラン 改定素案について</p> <p>●第1章～第4章について</p> <p>54 ページの図で、「舟運の船着き場」の表示マークのうち、アーバンランチの芝浦アイランド船着き場の位置が間違っている。コミュニティバスはみなとパーク芝浦まで運行されているはずである。最新のルートに修正していただきたい。</p>
事務局	<p>55 ページの図で、「水辺の散歩道の連続化」で、一部連続していない表現箇所があるが、その意味は何か。</p> <p>水辺の散歩道は、港湾局と調整しながら、運河の区域内に歩ける空間を整備し連続化させている。一部、水面において散歩道をつなげられる空間が</p>

委員	<p>なく連続化の見通しが無い部分があり、このような表現となっている。</p> <p>47 ページと 55 ページの図に関して、「歩いて楽しい」「水辺を歩ける」「サイクリングして楽しい」がそれぞれ別の方針図に示されている。魅力的な空間の連続化としてまとめて表現していただけるとよい。</p> <p>87 ページの八芳園はユニークベニューではない。ユニークベニューとしては、東京タワーや増上寺の写真が良い。</p> <p>88 ページの増上寺の写真は、掲載の意図がよくわからない。ここで書きたいのは、地域の資源を融合させ新しいイベントを推進するということ。文言と合わせて写真を再検討していただきたい。</p> <p>89 ページのベロタクシーの写真も違和感がある。ボランティアガイドによるガイドの写真等が適切ではないか。観光の情報発信の文章は、具体的に何を行いたいのかが見えてこない。やるべきことは、港区をどう差別化し、戦略的に魅力を構築して伝えていくかということ。ストーリーを戦略的に伝えるような情報発信とすることを検討してはどうか。</p>
委員	<p>16 ページにある帰宅困難者の一時受け入れ場所は、「待機場所」と「待機施設」とに分けて考えることが今後一般的になっていくと考えられる。表現は検討が必要である。</p> <p>72 ページの方針図は、ベースの情報として地域危険度を入れていただくとわかりやすい。</p>
委員	<p>52 ページの「タクシー事故」という表現は適切か。これは自動車事故全般の話か。</p>
事務局	<p>港区はタクシー事故が非常に多いことから、あえて特出ししている。わかりやすい表現に変える。</p>
委員	<p>第2章を読んでいると、状況の変化が書かれていない分野があることが気になる。例えば土地利用・活用では現状が書かれており、タイトルと合っていない印象。住宅戸数の推移なども同様である。</p> <p>19 ページは「立ち位置の変化」より「立ち位置の明確化」の方がよいのではないか。</p>
委員	<p>18 ページの右下は、港区のデータはないのか。区のデータがないのであれば蛇足ではないか。</p> <p>86 ページの図は、区内の主要な観光エリアを重要度などで区別できるとよいのではないか。</p> <p>91 ページのオレンジの地域について、凡例であえてハイセンスという言葉を使う必要はあるのか。港区に足りないのはローセンスな店舗。</p>
委員	<p>18 ページのデータとしては、宿泊施設に関するデータであれば、区のものがあるのではないか。</p>
委員 事務局 委員長	<p>72 ページの図中の白い部分は何を意味しているのか。</p> <p>広域避難場所や地区内残留地区になっていない地域のことである。</p> <p>地震と水害の話が一つの図に表現されており、誤解を招きかねない。地震と水害とでは避難のしかたも異なる。これを見た人が両者をつなげて考えないよう注意書き等を入れられるとよいのではないか。広域避難場所がハザードで青くなってしまっている点も、図を重ねると気になってしまう。</p>
委員	<p>61 ページに斜面緑地の写真があるが、斜面緑地とは本来的には原地形を踏襲したものである。道路造成に伴い整備された人工的な斜面緑地は、代表的なものとして適切でないのではないか。写真の差し替えを検討していただきたい。</p> <p>方針4の(1)から(3)に写真が掲載されていないのは、何か意図があるのか。</p>
事務局	<p>ページの構成上の都合であり、意図があるわけではない。</p>

委員	<p>写真があるところとないところとで方針の重要度が違うように見えてしまう。体裁は統一した方が良いのではないか。</p> <p>(3)の内容は、公園を前提として書かれている感がある。広場やオープンスペースなどの話が抜けているのではないか。にぎわいの場の創出に関する最も重要な要素であるため、入れていただけるとよい。</p> <p>関連して景観(方針6)だが、イメージパースが緑が中心になっている。例えば大規模開発によるタワーが建ち並ぶ景観も港区の特徴なのではないか。また、パースにある落ち着きのある住宅地は、これでは落ち着きがあるように見えない。にぎわいと落ち着きのコントラストがあることが港区の景観の特徴であり、そのような表現を工夫していただきたい。</p> <p>79ページの「港区の骨格を…」という表現は少しわかりにくいのではないか。これはどのような位置づけなのか。</p>
事務局	<p>景観計画に定めている景観形成特別地区のことである。</p>
委員	<p>凡例の表現は変えていただいた方がわかりやすいと思う。</p>
委員	<p>78ページの文章では風致地区のことが書かれているので、図中にも風致地区の位置が示されているとよいのではないか。</p>
委員	<p>75ページのイメージパースはキーポイントとなる。港区にある具体的な風景をもとに、そこをより魅力的に描いていってはどうか。</p> <p>79ページの「水辺と一体となった…」では、古川や竹芝のあたりも表示されるとよいのではないか。</p>
委員	<p>54ページについて、港湾局は試験的に平常時に利用できる船着場を増やしてきた。その状況も鑑みて方針図にプロットしてはどうか。</p>
事務局	<p>55ページの図の紫と白抜き部分はどのように決まっているのか。</p> <p>区のバリアフリー基本構想に定めているバリアフリー重点整備地区のことである。</p>
委員	<p>誤解がないよう、その説明は載せた方がよいのではないか。</p>
委員長	<p>参照している計画がある場合、記載した方がよい。</p>
委員長	<p>●第5章～資料編、概要版について</p> <p>概要版はパブコメ用という認識でよいか。</p>
事務局	<p>そうである。最終的に出来上がったものの概要版はそのときに作成する。</p>
委員	<p>149ページの協働体制では、大使館と町会の文言に違いが見られない。大使館の場合、違うことが言えるのではないか。大使館と町会とではだいぶ立ち位置が違うはずである。</p>
委員長	<p>グループヒアリングの記録で、ほとんどのところに大使館巡りについて書かれている。そういったことも意識しながら、区のPRや文化共生などについて盛り込めるとよいのではないか。</p>
委員	<p>地区別の各地区の冒頭のページは、写真と特性とが合っていない。例えば芝地区では、再開発の勢いのある写真などがあってもよいのではないか。</p> <p>地区の歴史についても、例えば赤坂地区では右ページに「社会動向に影響を受けた…」と書かれているが、それこそが地区の歴史として書かれるべき内容ではないか。歴史として大切にしたいものを書くのであれば、それに見合ったタイトルへ変更されるとよい。</p> <p>31ページのゾーンのイメージの写真もよくわからない。一見どれも一緒に見えてしまう。ゾーンの狙っているところのイメージができていないのではないか。ゾーンで見せたいこと、地区で見せたいこと、合わせて写真を検討されてはどうか。</p>
委員長	<p>地区の歴史は名所案内のようになってしまっている。</p>
委員	<p>114、115ページに東京都の災害拠点病院があるが、他の地区のものもある</p>

委員長 委員	<p>ので、それも凡例に加えていただけるとよいのではないか。また、文化財の4つ目の記載が漏れているほか、114 ページには文化財の数字のみが残っているところがある。</p> <p>エリア近傍の大事な施設は入れておいた方が親切である。</p> <p>128 ページは、図に補助第 14 号線を入れていただきたい。文章には書かれている。</p>
委員	<p>134 ページの都市計画道路の早期整備部分は、図中と凡例の表現をあわせてわかりやすく表記していただけるとわかりやすい。</p> <p>方針 2 の商店街について、高輪地区では、8 商店街が協働でネットワークを作り活性化を図っている。商店街の表現がもっとわかりやすい方がよいのではないか。</p> <p>方針 6 の最後に「プラチナ通り…」とあるが、近年はマンションも同様に建っている。住宅も合わせて調和のとれた街並みを維持するような内容が書かれているとよい。</p> <p>第 6 章の今後のまちづくりの進め方では、情報提供、情報発信など、支所の役割なども書かれるとよいのではないか。住民には、まずはまちマスを認知してもらうことが大切である。そのためにも、情報発信、情報提供に関する取組が行われていることを書けるとよい。</p>
委員長	<p>148 ページに情報発信を位置づけてもよいのではないか。支所に役割は求めてよいか。</p>
副区長 事務局	<p>方向性としてはある。記述されて当然と考えている。</p> <p>条例の活用は支所が中心となる。そのことは入れている。ガイドラインにも少し記載はある。</p>
委員	<p>地区の歴史について、増上寺の浮世絵はなぜ大正時代のもので掲載されているのか。江戸時代からある寺であり、その頃の浮世絵はないのか。また、泉岳寺ももっとわかりやすい絵があるのではないか。</p>
事務局 副区長	<p>浮世絵は再度精査する。</p> <p>大街区のことはどこかに書かれているのか。現行計画と比べて、内容として抜けているところがないよう、突き合わせをお願いしたい。</p>
委員長	<p>124 ページの方針図について。文中では新国立競技場へのアプローチについて書かれているが、図には示されていない。競技場は、オリンピック後も人が集まる大きな施設となることは間違いのない。施設そのものは港区ではないにしても、ゲート機能は港区に大きく関係してくるので、何か意識されるとよいのではないか。検討いただきたい。</p>
委員	<p>106 ページに記載のある有栖川宮記念公園の面積に誤りがある。確認していただきたい。</p> <p>107 ページの区民一人あたりの公園・緑地面積は、「麻布地区民一人あたり」に修正していただきたい。</p> <p>高輪地区の方針 3 について、白金高輪駅はこれ以上の利便性向上は難しいのではないか。白金高輪駅はバスも通っていない。</p> <p>高輪地区の緑・水（131 ページ）では、三田用水も貴重な資源である。</p> <p>高輪地区の文章では国道 15 号線の記載があるが、国道 1 号線のことを書かれていない。合わせて整理していただきたい。</p>
委員	<p>173 ページの「道路を生かした緑の軸」は、道路とその沿道に整備する緑のことである。説明の文言の修正が必要である。</p> <p>「地形を生かした緑の軸」については、なぜ環境保全や景観形成にとって重要であるかを追記いただきたい。</p> <p>「ビオトープ」については、用語の扱いに慎重になっていただきたい。</p> <p>「エコロジカルネットワーク」は、ふれあいの場というよりは共存・共生</p>

委員長	<p>くらいのニュアンスである。ふれあうと成立しなくなるということもある。追加のご指摘は、シルバーウィーク前までにいただけるとありがたい。</p> <p>4. 閉会</p>
-----	--